

(6) 英語科

上益城の中3の生徒は、「英語が好きですか。」という設問について、4.6ポイント、「英語を理解していますか」という設問について、6.1ポイント向上しています。

県学力調査結果では、「表現力」について、中1は向上しましたが、中2は、7.9ポイント低下しました。

【熊本県学力調査の結果より】

表現の能力について昨年度との比較		
熊本県	H 2 7	H 2 8
中 1	39.1%	42.4%
中 2	30.5%	22.6%

【指導課関係調査より】

"I CAN DO IT!"や本県独自の読み物資料 "The Spirit of KUMAMOTO"を活用しているかについては、右のとおり、向上しています。今後も継続して、授業はもとより家庭学習等で活用をお願いします。

上益城	H 2 7	H 2 8
DVD 活用	63.0%	100%
英語読み物資料	63.0%	100%

【熊本県学力調査質問紙 A より】

< 英語が好きですか。 >

「とても」+「まあまあ」

上益城	H 2 7	H 2 8
中 1	56.2%	51.7%
中 2	46.0%	43.9%
中 3	39.6%	44.2%

< 英語を理解していますか。 >

「とても」+「まあまあ」

上益城	H 2 7	H 2 8
中 1	58.2%	56.2%
中 2	49.2%	52.0%
中 3	41.3%	47.4%

中学校の英語教育の充実に向けての対策とポイント

平成 2 8 年度中学校教育課程地区別研究協議会（外国語）概要より

**平成28年度中学校外国語科の指導の重点**

**【本県の課題】**（「H27県学力調査」より）

- 基本的な単語や文法事項の定着に課題がある。
- 話の内容等を踏まえて、自分の考えや気持ち相手が相手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意して書くことに課題がある。

**【指導の重点】**

- 言語材料についての知識や理解を深める言語活動の充実
- 自分の考えや気持ちなどを伝え合い、即興的なやり取りのある言語活動の充実
- 4技能を総合的に育成するための計画的及び系統的な言語活動の充実

**英語指導を充実させるためのチェックポイント**

- CAN-DO リスト**
  - 「英語を用いて何ができるようになるか」の視点に立った学習到達目標を設定しているか。
  - 生徒と共有し、家庭等へ公表しているか。
  - 達成状況を把握しているか。
- 年間指導計画**
  - CAN-DOリストとの関連が明確であるか。
  - パフォーマンステスト等を計画的及び系統的に設定しているか。
- 単元計画**
  - 焦点化及び明確化した単元目標を設定しているか。
  - 単元目標達成に向けて、適切な言語活動が計画的に設定されているか。
- 一単位時間内の授業計画**
  - 明確な「本時の目標」を提示し、「本時のまとめ」を確実にしているか。
  - 本時の目標達成に向けて、適切な言語活動が、段階的に設定されているか。

**重点取組事項**

**単元目標の焦点化及び明確化と、目標達成のための手だて**

- 「英語を用いて何ができるようになるか」を明確にした目標設定
  - 単元目標の焦点化・明確化を図るとともに、目標達成に向けて、生徒が「知りたい」「伝えたい」と思う言語活動を計画的・系統的に設定する。

**【例】**

- 単元目標：「町のお薦め観光スポットを、新しく来たA.L.Tに紹介することができる。」（自分の考えや相手への呼びかけも含めて4文以上で紹介する。）
  - ※この目標は、単元終了時に何ができるようになるべきか、生徒にも明白であり、加えて、学習指導要領に示されている言語活動「話すこと」(オ)に関連することが明確となっている。
- 単元目標を達成するための言語活動
  - 町のお薦め観光スポットについて、ペアで（できるだけ多くの場所を）出し合う。
  - 相手のお薦め観光スポットについて、3つ以上の理由を聞き合う。
  - グループ内でキーワードをもとに紹介し、質問し合う。

**一単位時間内における英語使用量の充実**

- 生徒の言語活動の充実
  - 「言語材料について理解したり練習したりする言語活動」と「互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動」の系統的・段階的な実践
- 教師の英語使用量の充実
  - 内容伝達を目的とする、インタラクション（対話）を交えた英語
  - 平易な語による言い換え等により、生徒の理解を促す英語

全国学力学習状況調査や県学力調査等から、各学校の課題を洗い出し、課題改善のために左記のチェックポイントや重点取組事項を参考にし、取り組んでいきましょう。

